保 護 者 小学校の教職員 様 学習等支援員 お知らせ 令和3年度も、学校や家庭などにおいて「GIFU ウェブラーニング(一人一人の理解度に応じた算数の学習 システム)」を小学校・全学年で活用できます。

<令和2年度(4月~1月)県全体の活用状況>

◆学校から 80,870 アクセス : 前年度比 1.2 倍 ◆家庭から 152,338 アクセス : 前年度比 4.3 倍

く 1人1台端末 × GIFU ウェブラーニング > 新たな学びを実現

これまで、GIFU ウェブラーニングの最大の課題は「パソコン室に行くのに手間がかかる」ということでした。しかし、1人1台端末の整備により、その課題が克服され、普通教室で行われる日常の算数の授業においても活用しやすくなりました。また、家庭において、GIFU ウェブラーニングを使って、授業中にできなかった問題や既に習った関連問題に取り組むことで、学習内容の理解を確かにすることができます。

令和3年度、子どもたちが自分の端末から GIFU ウェブラーニングにアクセスし、自分のペースで、自分の課題(つまずき)に主体的に取り組み、「分かるできる」喜びを十分に味わう学習が進められることを期待しています。

◆毎時間の「きょうのもんだい」を充実

- 第5学年全単元・完備! -

毎時間の授業の後半にタブレットを 活用して学習の定着を図っている先生 方から「問題数が少ない」といった意 見が寄せられました。そこで全単元で 「きょうのもんだい」の問題数を増や しています。

学校や家庭で「きょうのもんだい」 を確実にクリアしていけば、学習内容 を確実に身に付けることができます。 (裏面参照)

活用し、「何ができるように なったか」を確かめる。

授業の終末に、タブレットを

どの つかいかたをしますか?

<算数の授業の終末・家庭学習を工夫・改善(例)>

【これまで】

- ①練習問題に取り組む。
- ②一斉に答え合わせをする。

早くできて みんなを待っ ている時間が 惜しい。 できていな いのに、答え合 わせの時間に なってしまう。

③間違えた問題をやり直す。

④家庭:やり残した問題やドリル 問題に取り組む。

▶一律の家庭学習

【工夫・改善】

①GIFU ウェブラーニング「きょうのもんだい」に取り組む。 ②自動採点

- ・できた子→次の問題、難しい問題へ
- ・間違えた子→やり直して、次の問題へ

→苦手クリアへ(既習内容の確かめ)

③家庭:その日の授業の「きょうのもんだい」(学校の続き)に取り組む。

: GIFU ウェブラーニングのチャレンジ問題や他の単元の復習問題に取り組む。

- :教科書・ドリルの問題に取り組む。
 - ▶自分の課題に応じた家庭学習

◆1人1台端末を活用し、子どもの状況に 最も適した学びを実現







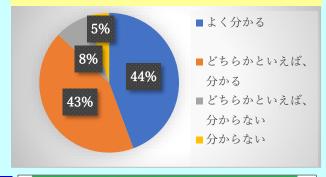


<GIFU ウェブラーニングを活用した 算数の時間の様子(県内小学校)>

- ◆県内6小学校 第5学年・665名 アンケート調査(令和2年12月)より
 - O 1 GIFU ウェブラーニングを使う学習 は楽しいですか。



O 2 GIFU ウェブラーニングを使うと、 算数の内容がよく分かりますか。



小学校5年生 16 四角形と三角形の面積

10時間目

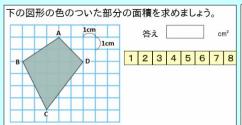
(5間) 8時間目 ◆台形の重領 無料表 P2.14

「きょうのもんだい」で習熟を図る

(例)【5年生「四角形と三角形の面積」】

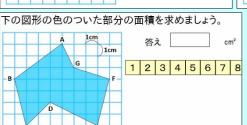
授業を行う全11時間に「きょうのもんだい」 を5問ずつ計55問用意しました。

く(例)第11時間目の問題>









いろいろな図形の面積を求める問題を2問以上つくって、 ノートに書きましょう。 また、つくった問題を友達に答えてもらいましょう。

(5間) 1時間目

2時間

友達に感想を聞きましたか? 近くに友達がいないときは、問題をノートに書いたら 「はい」をえらんでください。

答え □はい ○いいえ



▶インターネットにつながるパソコンやタブレットなどがあれば、どこでも利用できます。 ログイン名とパスワードは、学校にお知らせしています。